

BCP（事業継続計画）に基づく 自然災害対応の机上訓練

認知症対応型共同生活介護 編

令和7年度 日向市介護サービス事業者集団指導

日向市 健康長寿部 高齢者あんしん課 介護認定係

I. 机上訓練の概要

目的	● 地震発生時における認知症対応型共同生活介護事業所（グループホーム）の入居者及び職員の安全確保 ● 初動対応の確認 ● 事業継続体制の強化
想定災害	大規模地震発生（震度6強） 施設内の被害、入居者の混乱、交通障害、通信障害が発生。
発生時間	午後3時
机上訓練時間	1時間程度
職員の状況想定	● 管理者 施設内勤務中。地震発生時は施設内におり、初動対応の指揮を担当。 ● 介護職員 入居者の介護・見守りを担当。施設内に複数名勤務。夜勤帯や日勤帯により人数は変動。 ● 看護職員（配置がある場合） 施設内勤務中。入居者の健康管理、緊急時の医療対応を担当。

I. 机上訓練の概要

時間	状況変化	事業所内対応・検討事項	入居者対応・地域連携
0分 (15:00)	大規模地震発生（震度6強）	職員は安全確保。 施設内の被害状況確認開始。	入居者は施設内にいる状態。 混乱や転倒防止のための対応を行う。
10分	通信・交通障害発生	緊急連絡網の活用検討。 職員の安否確認開始。	入居者の安全確認と落ち着かせるための対応。
20分	施設内被害の把握	被害状況に応じた避難・安全対策検討。	入居者の安否確認と必要な支援の優先順位付け。
30分	地域の防災情報入手	行政や関係機関との連絡体制確認。	地域包括支援センター等との連携確認。
40分	事業継続計画（BCP）発動	優先業務の抽出と代替手段の検討。	緊急時の入居者支援計画の調整。
50分	職員の交代・帰宅判断	職員の帰宅・交代体制検討。	入居者の避難状況把握と支援継続計画。
60分	課題抽出・改善策検討	訓練参加者で課題共有と改善策検討。	今後の防災体制見直しの方向性確認。

2. ワークシートの使用場面について

ワークシートは、机上訓練の進行に合わせて参加者が考え、記入しながら議論を深めるためのツールです。具体的には以下の場面で使用します。

	使用するワークシート	目的
1. 訓練開始直後～初動対応の検討時	● 初動対応と安全確保	● 地震発生直後に職員が施設内の安全確保や入居者の安全確認を行い、初動対応の課題や具体的な対応策を整理する。
2. 利用者の安否確認と支援優先順位を検討する場面	● 入居者の安否確認と支援計画	● 認知症の特性を踏まえた入居者の安否確認方法や混乱を避ける対応、避難計画の検討を行う。
3. 情報収集と地域連携の検討時	● 情報収集と地域連携	● 地域の防災情報の収集方法や行政・医療機関、地域包括支援センター等との連携体制について話し合い、情報共有の課題を明確化する。
4. 事業継続計画（BCP）に基づく対応策検討時	● BCPの実践	● 優先業務の抽出、代替手段の検討、職員の交代や帰宅判断基準の設定など、事業継続に必要な具体策を検討する。
5. 訓練終了前の課題抽出・振り返りの場面		● ワークシートに記入した内容に基づき、グループまたは全体で共有・討議し、改善策をまとめる。

3. ワークシート(Ⅰ) 初動対応と安全確保

項目	記入欄
地震発生時の職員の状況	例：施設内職員5名、入居者9名
施設内の被害状況	例：家具の転倒、ガラス破損
職員の安全確保方法	例：安全な場所への誘導、応急処置

3. ワークシート(2) 入居者の安否確認と支援計画

項目	記入欄
入居者の安否確認方法	例：直接観察、転倒・ケガの有無の確認
認知症の特性に配慮した対応	例：混乱を避ける声かけ、落ち着かせる方法
避難計画の検討	例：避難場所、避難誘導方法
緊急連絡先の確認	例：家族、医療機関、行政

3. ワークシート(3) 情報収集と地域連携

項目	記入欄
地域の防災情報入手方法	例：自治体HP、ラジオ、地域包括支援センター
行政・医療機関との連絡体制	例：連絡先一覧、連絡ルール
地域連携先との支援協力体制	例：訪問介護事業所、消防署

3. ワークシート(4) BCPの実践

項目	記入欄
優先業務の抽出	例：入居者安全確保、転倒防止、連絡体制維持
代替手段・リソース	例：他事業所協力、物資備蓄
職員の交代・帰所判断基準	例：疲労度、交通状況
今後の課題と改善策	例：認知症対応訓練の強化、通信手段の多様化

4. チェックリスト（机上訓練終了後の振り返り）

項目	記入欄
職員体制・安全確認	☐ 職員と入居者の安全確認は迅速に行われたか ☐ 施設内の被害状況把握が適切にできたか ☐ 入居者の混乱を最小限に抑える対応ができたか
利用者安否確認・支援	☐ 入居者の優先順位付けが適切にできたか ☐ 安否確認方法は多様で機能的か ☐ 支援が必要な利用者への対応策が具体的か
情報収集・共有	☐ 代替の通信手段が確保されているか ☐ 地域の防災情報を入手できる体制があるか ☐ 行政や医療機関との連絡体制は機能したか ☐ 情報共有のルールが周知されているか
BCPの実践	☐ 優先業務の明確化ができているか ☐ 代替手段や連携先が確保されているか ☐ 訓練を通じて課題と改善点が洗い出せたか ☐ 改善策の具体的な計画が策定されたか